

令和7年度

全国学力・学習状況調査結果

(上尾市立小・中学校 概要)

令和7年4月17日実施



上尾市教育委員会

目 次

1 学力調査の概要	・・・ 1
2 内容別調査結果の概要	
(1)内容別正答率	・・・ 2
(2)分類・区分別正答率	
【国語】	・・・ 3
【算数】	・・・ 5
【数学】	・・・ 6
【理科】	・・・ 7
3 学校別正答率	
【小学校】	・・・ 9
【中学校】	・・・ 12
4 児童生徒質問回答結果 （生活習慣に関する質問事項を中心に抜粋）	
【小学校】	・・・ 15
【中学校】	・・・ 16
5 各教科の正答率の状況及び成果と課題	・・・ 17

1 学力調査の概要

(1) 調査の目的

- ア 国が、全国的な義務教育の機会均等とその水準の維持向上のため、児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育の結果を検証し、改善を図る。
- イ 各教育委員会、学校等が、全国的な状況との関連において自らの教育の結果を把握し、改善を図る。
- ウ 各学校が、各児童生徒の学力や学習状況を把握し、教育指導や学習状況の改善に役立てる。

(2) 調査の対象学年

- ア 小学校：第6学年
- イ 中学校：第3学年

(3) 調査期日

令和7年4月17日(木)

(4) 調査対象教科等

- ア 小学校：「国語」「算数」「理科」「質問調査」
- イ 中学校：「国語」「数学」「理科」「質問調査」

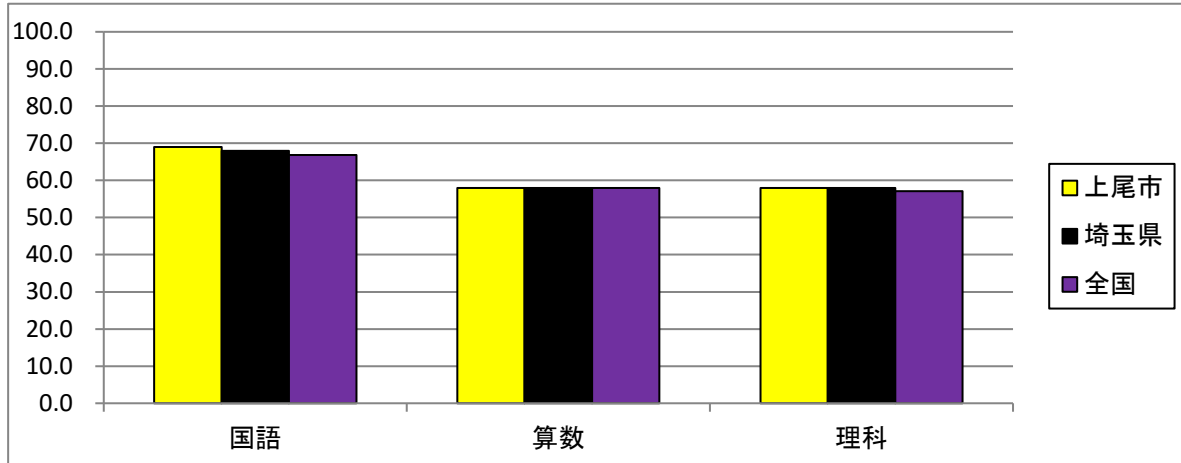
2 内容別調査結果の概要

(1) 内容別正答率

※ 網掛けは、全国の平均正答率を下回っているもの

【小学校第6学年】

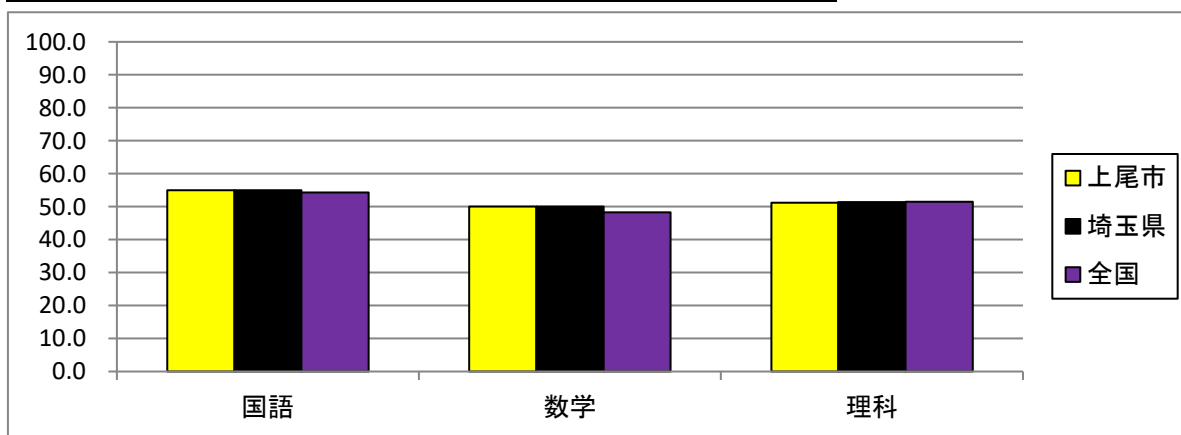
	国語	算数	理科
上尾市	69	58	58
埼玉県	68	58	58
全 国	66.8	58.0	57.1



全教科、全国、埼玉県の平均正答率と同等か上回っている。

【中学校第3学年】

	国語	数学	理科
上尾市	55	50	51
埼玉県	55	50	51
全 国	54.3	48.3	51.5



国語、数学においては、全国、埼玉県の平均正答率と同等か上回っている。理科においては、全国、埼玉県の平均正答率と同等か下回っている。

(2) 分類・区分別正答率

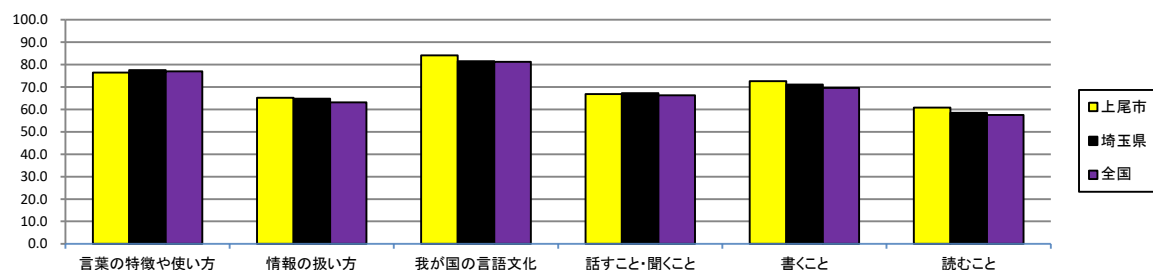
国語

※ 網掛けは、全国の平均正答率を下回っているもの

【小学校第6学年】

《学習指導要領の内容別》

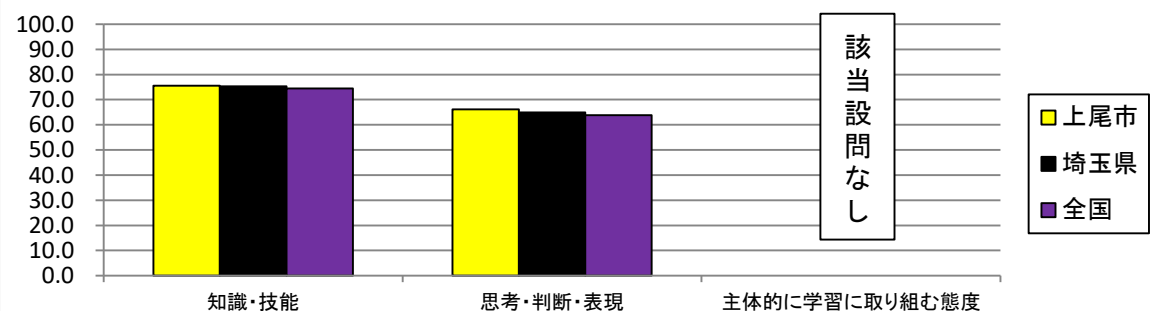
	知識及び技能			思考力、判断力、表現力等		
	言葉の特徴や使い方	情報の扱い方	我が国の言語文化	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと
上尾市	76.4	65.2	84.1	66.8	72.6	60.8
埼玉県	77.5	64.8	81.5	67.3	71.1	58.4
全 国	76.9	63.1	81.2	66.3	69.5	57.5



「知識及び技能」の「情報の扱い方」と「我が国の言語文化」、「思考力、判断力、表現力等」の「書くこと」「読むこと」について、全国及び埼玉県の平均正答率を上回っている。しかし、「知識及び技能」の「言葉の特徴や使い方」については、全国及び埼玉県の平均正答率を下回っており、「思考力、判断力、表現力等」の「話すこと・聞くこと」については、埼玉県の平均正答率を下回っている。

《評価の観点別》

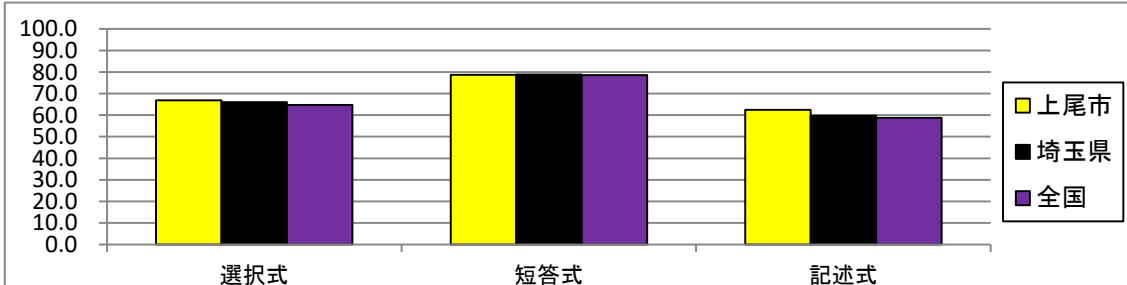
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
上尾市	75.5	66.1	—
埼玉県	75.3	64.9	—
全 国	74.5	63.8	—



「知識・技能」「思考・判断・表現」のいずれも全国、埼玉県の平均正答率を上回っている。

《問題形式別》

	選択式	短答式	記述式
上尾市	66.9	78.7	62.4
埼玉県	66.0	78.9	59.7
全 国	64.7	78.5	58.8



「選択式」「記述式」については、全国及び埼玉県の平均正答率を上回っているが、「短答式」については、埼玉県の平均正答率を下回っている。

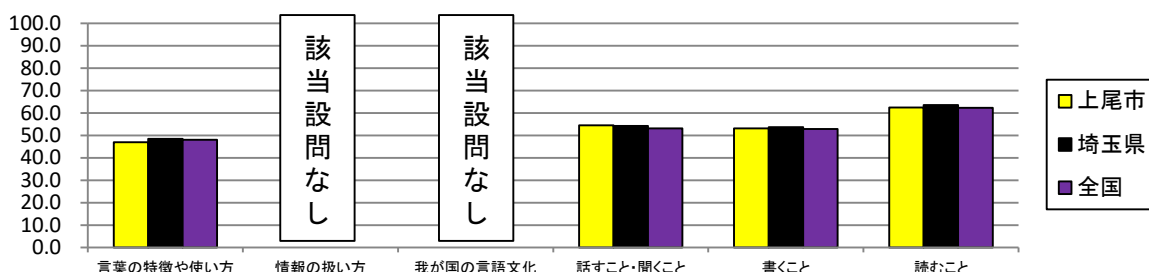
国語

※ 網掛けは、全国の平均正答率を下回っているもの

【中学校第3学年】

《学習指導要領の内容別》

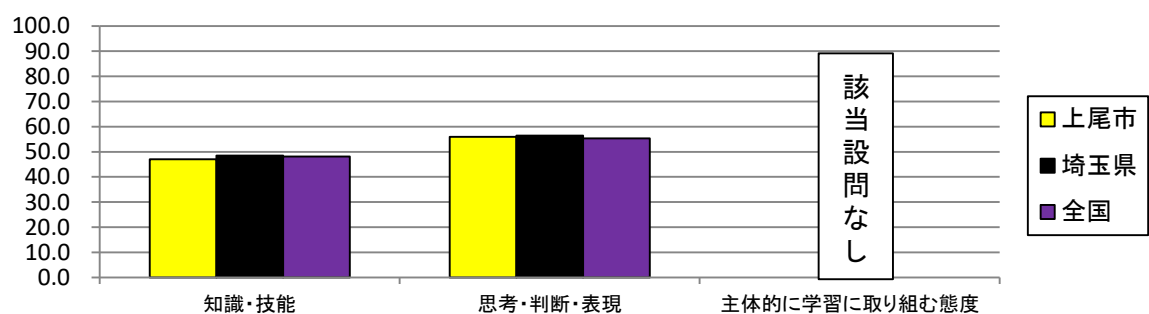
	知識及び技能			思考力、判断力、表現力等		
	言葉の特徴や使い方	情報の扱い方	我が国の言語文化	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと
上尾市	47.0	—	—	54.5	53.1	62.4
埼玉県	48.5	—	—	54.3	53.7	63.6
全 国	48.1	—	—	53.2	52.8	62.3



「知識及び技能」の「言葉の特徴と使い方」については、全国及び埼玉県の平均正答率を下回っている。「思考力、判断力、表現力等」の「話すこと・聞くこと」については、全国及び埼玉県の平均正答率を上回っている。「書くこと」「読むこと」については、全国の平均正答率は上回っているが、埼玉県の平均正答率は下回っている。

《評価の観点別》

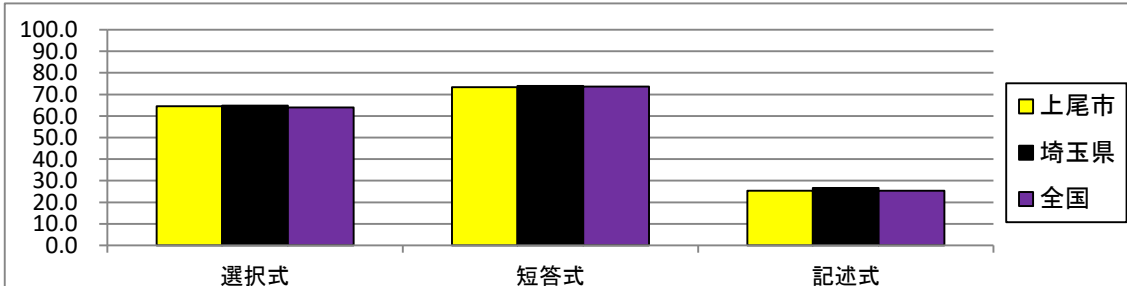
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
上尾市	47.0	55.9	—
埼玉県	48.5	56.4	—
全 国	48.1	55.3	—



「知識・技能」については、全国及び埼玉県の平均正答率を下回っている。「思考・判断・表現」については、全国の平均正答率は上回っているが、埼玉県の平均正答率は下回っている。

《問題形式別》

	選択式	短答式	記述式
上尾市	64.5	73.3	25.4
埼玉県	64.8	74.0	26.6
全 国	63.9	73.6	25.3



「選択式」「記述式」については、全国の平均正答率は上回っているが、埼玉県の平均正答率は下回っている。「短答式」については、全国及び埼玉県の平均正答率を下回っている。

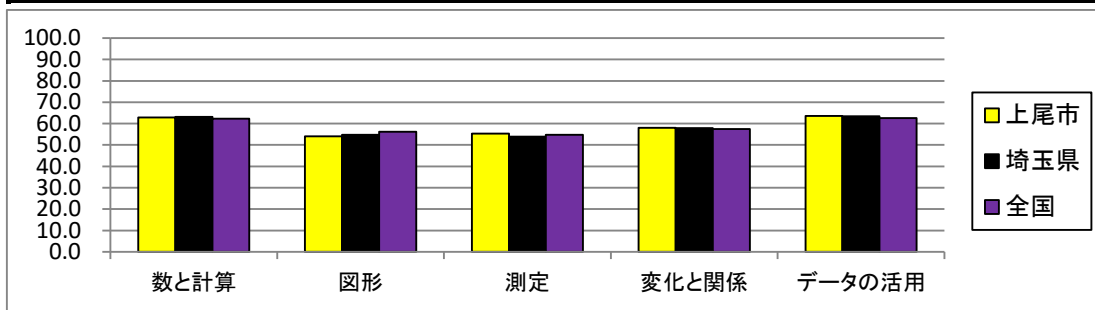
算数

【小学校第6学年】

※ 網掛けは、全国の平均正答率を下回っているもの

《学習指導要領の領域別》

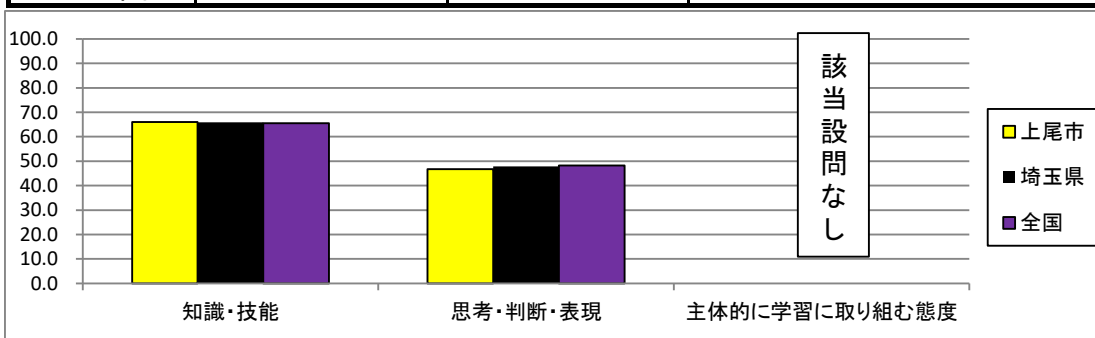
	数と計算	図形	測定	変化と関係	データの活用
上尾市	62.8	54.1	55.3	58.0	63.5
埼玉県	63.1	54.7	53.9	57.9	63.4
全 国	62.3	56.2	54.8	57.5	62.6



「数と計算」については、全国の平均正答率は上回っているが、埼玉県の平均正答率は下回っている。「図形」については、全国及び埼玉県の平均正答率を下回っている。「測定」「変化と関係」「データの活用」については、全国、埼玉県の平均正答率を上回っている。

《評価の観点別》

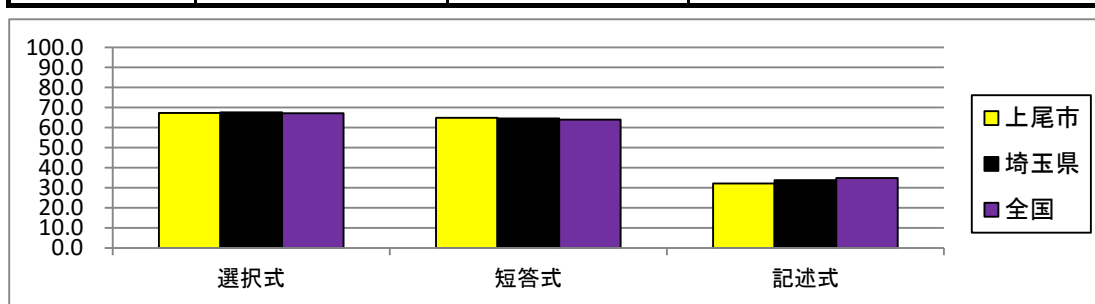
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
上尾市	66.0	46.8	—
埼玉県	65.9	47.9	—
全 国	65.5	48.3	—



「知識・技能」については、全国、埼玉県の平均正答率を上回っているが、「思考・判断・表現」については、全国、埼玉県の平均正答率を下回っている。

《問題形式別》

	選択式	短答式	記述式
上尾市	67.3	64.9	32.1
埼玉県	67.6	64.6	33.8
全 国	67.2	64.0	34.9



「選択式」については、全国の平均正答率は上回っているが、埼玉県の平均正答率は下回っている。「短答式」については、全国及び埼玉県の平均正答率を上回っている。「記述式」については、全国及び埼玉県の平均正答率を下回っている。

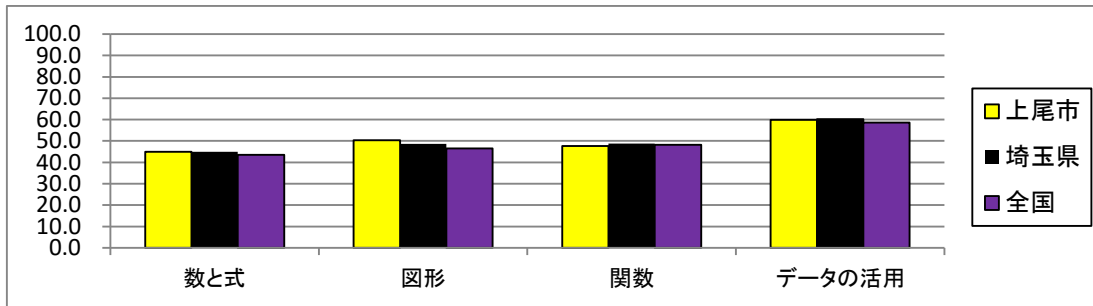
数学

※ 網掛けは、全国の平均正答率を下回っているもの

【中学校第3学年】

《学習指導要領の領域別》

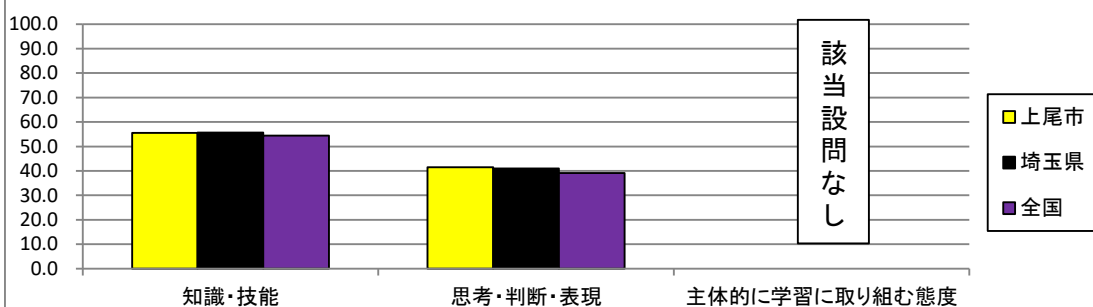
	数と式	図形	関数	データの活用
上尾市	45.0	50.3	47.7	59.8
埼玉県	45.0	48.7	48.8	60.2
全 国	43.5	46.5	48.2	58.6



「数と式」「図形」については、全国及び埼玉県の平均正答率と同等か上回っている。「関数」については、全国及び埼玉県の平均正答率を下回っている。「データの活用」については、全国の平均正答率は上回っているが、埼玉県の平均正答率は下回っている。

《評価の観点別》

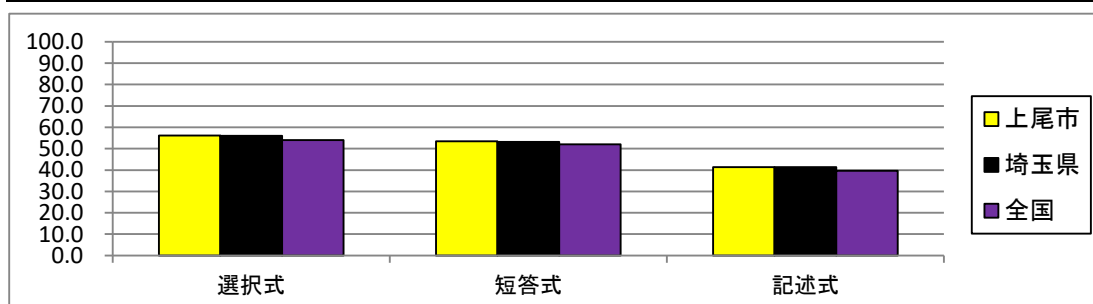
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
上尾市	55.5	41.5	—
埼玉県	55.7	41.0	—
全 国	54.4	39.1	—



「知識・技能」では全国の平均正答率は上回っているが、埼玉県の平均正答率は下回っている。「思考・判断・表現」では、全国及び埼玉県の平均正答率を上回っている。

《問題形式別》

	選択式	短答式	記述式
上尾市	56.2	53.4	41.3
埼玉県	56.0	53.2	41.3
全 国	54.0	52.0	39.6



すべての問題形式について、全国及び埼玉県の平均正答率と同等か上回っている。

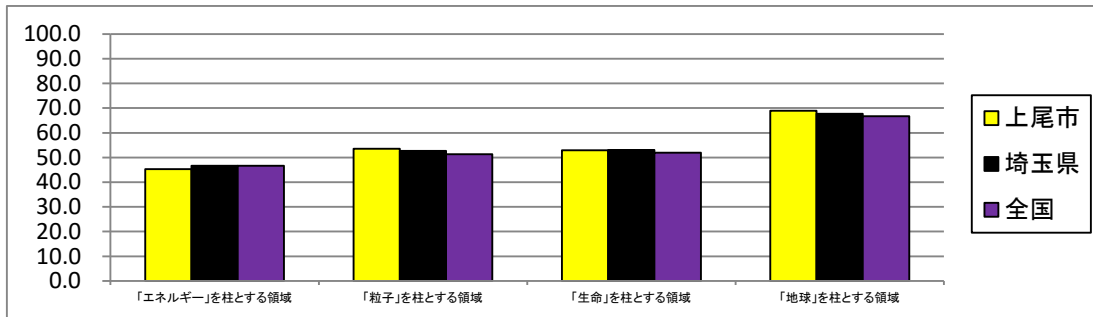
理科

※ 網掛けは、全国の平均正答率を下回っているもの

【小学校第6学年】

《学習指導要領の領域別》

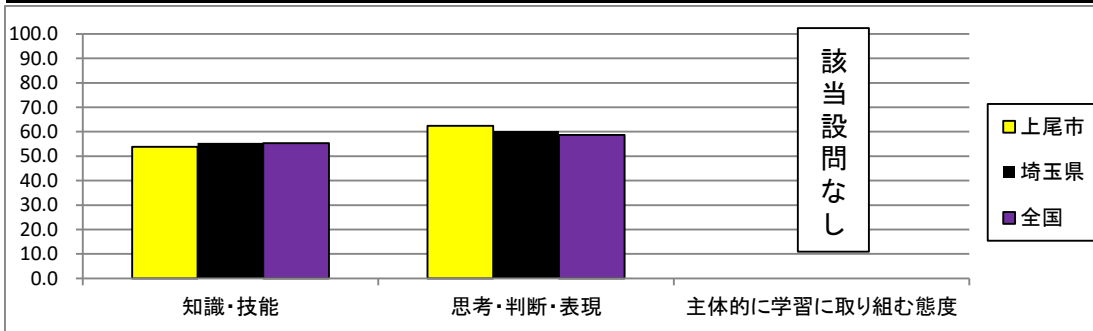
	「エネルギー」を柱とする領域	「粒子」を柱とする領域	「生命」を柱とする領域	「地球」を柱とする領域
上尾市	45.3	53.6	53.0	68.9
埼玉県	46.6	52.7	53.1	67.7
全 国	46.7	51.4	52.0	66.7



「『粒子』を柱とする領域」「『地球』を柱とする領域」については、全国及び埼玉県の平均正答率を上回っている。
「『エネルギー』を柱とする領域」については、全国及び埼玉県の平均正答率を下回っている。「『生命』を柱とする領域」については、全国の平均正答率は上回っているが、埼玉県の平均正答率は下回っている。

《評価の観点別》

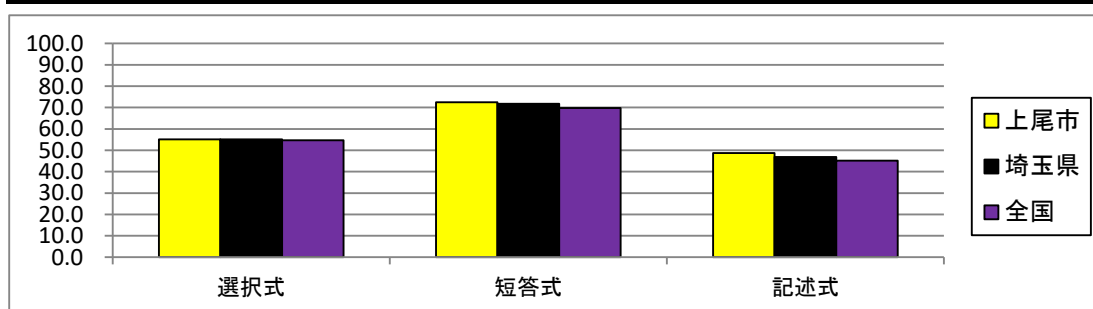
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
上尾市	53.9	62.4	—
埼玉県	55.5	60.3	—
全 国	55.3	58.7	—



「知識・技能」については、全国及び埼玉県の平均正答率を下回っているが、「思考・判断・表現」については、全国及び埼玉県の平均正答率を上回っている。

《問題形式別》

	選択式	短答式	記述式
上尾市	55.1	72.4	48.7
埼玉県	55.1	71.7	46.9
全 国	54.7	69.7	45.2



すべての問題形式について、全国及び埼玉県の平均正答率と同等か上回っている。

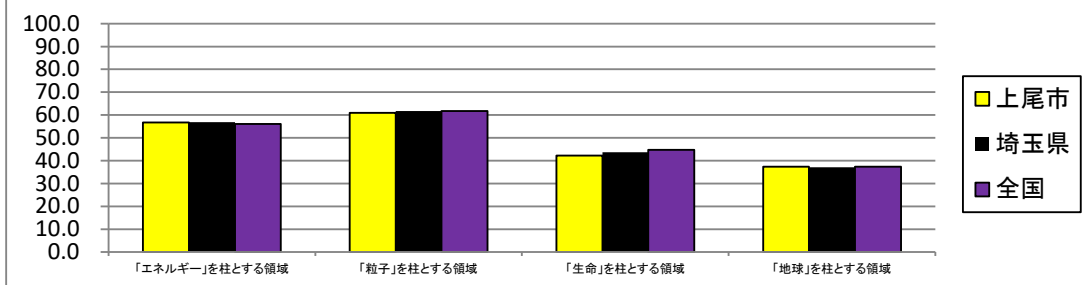
理科

【中学校第3学年】

※ 網掛けは、全国平均正答率を下回っているもの

《学習指導要領の領域別》

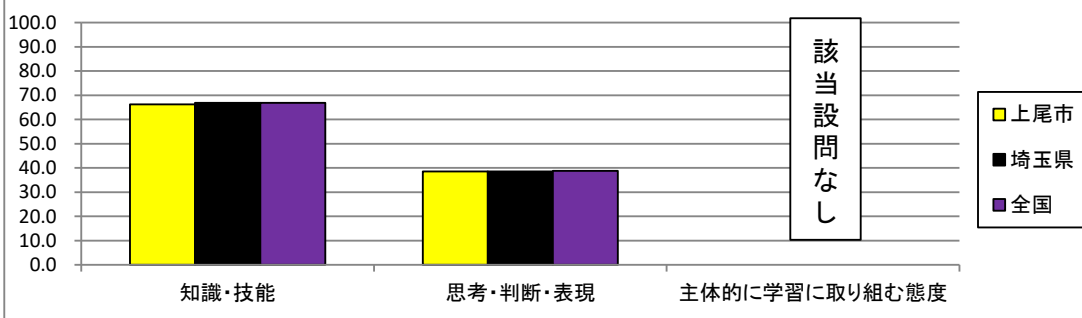
	「エネルギー」を柱とする領域	「粒子」を柱とする領域	「生命」を柱とする領域	「地球」を柱とする領域
上尾市	56.7	60.9	42.2	37.3
埼玉県	56.9	61.7	43.7	36.7
全 国	56.1	61.7	44.8	37.3



「『エネルギー』を柱とする領域」については、全国平均正答率は上回っているが、埼玉県の平均正答率は下回っている。「『粒子』を柱とする領域」「『生命』を柱とする領域」については、全国及び埼玉県の平均正答率を下回っている。「『地球』を柱とする領域」については、全国及び埼玉県の平均正答率と同等か上回っている。

《評価の観点別》

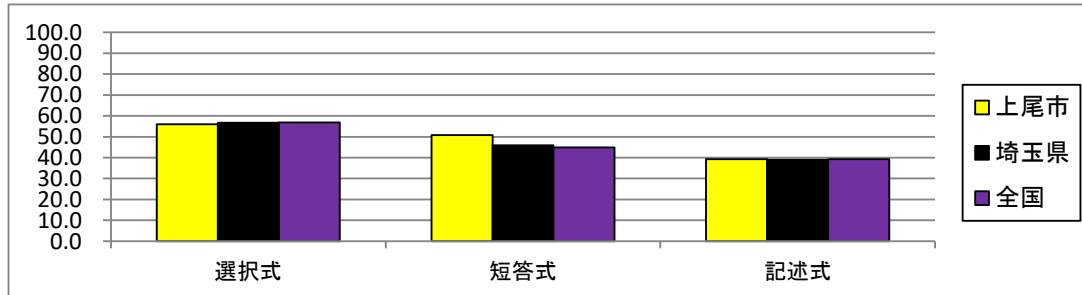
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
上尾市	66.2	38.6	—
埼玉県	66.8	38.6	—
全 国	66.8	38.8	—



「知識・技能」については、全国及び埼玉県の平均正答率を下回っている。「思考・判断・表現」については、全国及び埼玉県の平均正答率と同等か下回っている。

《問題形式別》

	選択式	短答式	記述式
上尾市	56.0	50.8	39.3
埼玉県	56.7	45.9	39.0
全 国	56.9	44.9	39.3



「選択式」については、全国及び埼玉県の平均正答率を下回っている。「短答式」については、は全国及び埼玉県の平均正答率を上回っている。「記述式」では全国及び埼玉県の平均正答率と同等か上回っている。

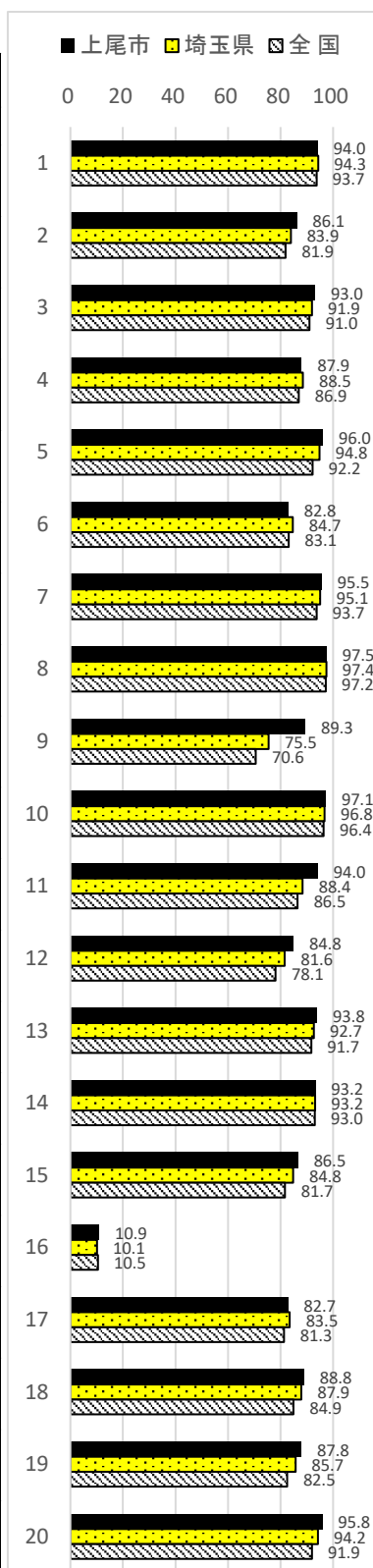
4 児童生徒質問回答結果(生活習慣に関する質問事項を中心に抜粋)

※ 網掛けは、全国の平均回答率を下回っているもの

【小学校(第6学年)】

平均回答率(%)

番号	質問事項	「はい」「よくある」と答えた児童		
		上尾市	埼玉県	全国
1	朝食を毎日食べていますか	94.0	94.3	93.7
2	毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	86.1	83.9	81.9
3	毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	93.0	91.9	91.0
4	自分には、よいところがあると思いますか	87.9	88.5	86.9
5	先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか。	96.0	94.8	92.2
6	将来の夢や目標をもっていますか	82.8	84.7	83.1
7	人が困っているときは、進んで助けていますか	95.5	95.1	93.7
8	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	97.5	97.4	97.2
9	困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか	89.3	75.5	70.6
10	人の役に立つ人間になりたいと思いますか	97.1	96.8	96.4
11	学校に行くのは楽しいと思いますか	94.0	88.4	86.5
12	自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか	84.8	81.6	78.1
13	友達関係に満足していますか	93.8	92.7	91.7
14	普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか	93.2	93.2	93.0
15	分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか	86.5	84.8	81.7
16	新聞を読んでいますか	10.9	10.1	10.5
17	地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか	82.7	83.5	81.3
18	学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか	88.8	87.9	84.9
19	授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができると感じますか	87.8	85.7	82.5
20	授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか	95.8	94.2	91.9



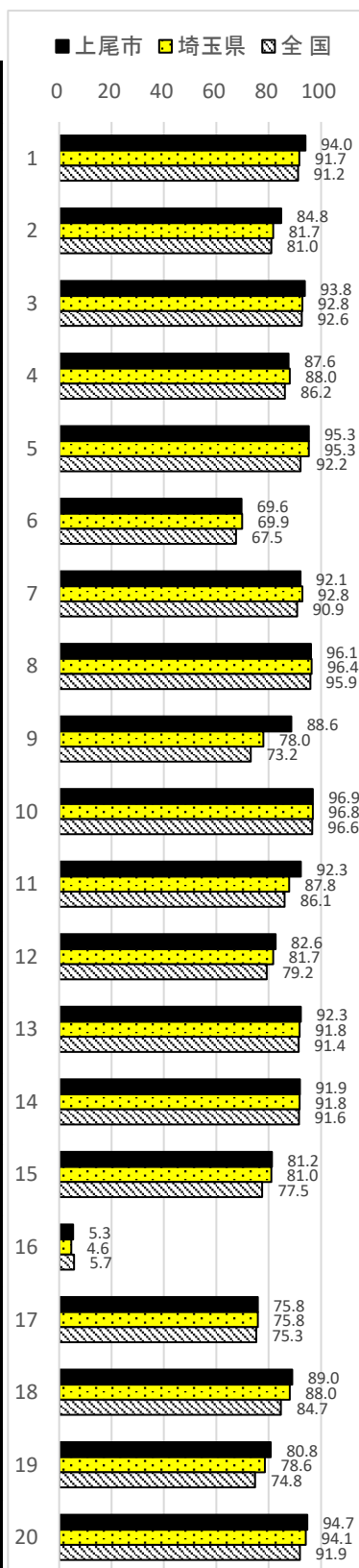
- 「朝食を毎日食べている」の項目が全国平均を上回っているとともに、「同じ時刻に寝たり起きたりする」項目において、全国及び埼玉県の平均を上回っており、生活習慣の確立が図られていることがうかがえる。
- 「学校に相談できる大人がいる」「学校に行くのは楽しい」と思う割合が全国及び埼玉県の平均を大きく上回っており、充実した学校生活が送れていることがうかがえる。
- 話し合い活動や周囲と協力した課題の解決に関する項目において全国及び埼玉県の平均を上回っており、協働的な学びを重視した指導が実践されていることがうかがえる。
- 将来の夢や目標をもつことについて課題が見られる。

※ 網掛けは、全国の平均回答率を下回っているもの

【中学校(第3学年)】

平均回答率(%)

番号	質問事項	「はい」「よくある」と答えた児童		
		上尾市	埼玉県	全国
1	朝食を毎日食べていますか	94.0	91.7	91.2
2	毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	84.8	81.7	81.0
3	毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	93.8	92.8	92.6
4	自分には、よいところがあると思いますか	87.6	88.0	86.2
5	先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか。	95.3	95.3	92.2
6	将来の夢や目標を持っていますか	69.6	69.9	67.5
7	人が困っているときは、進んで助けていますか	92.1	92.8	90.9
8	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	96.1	96.4	95.9
9	困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか	88.6	78.0	73.2
10	人の役に立つ人間になりたいと思いますか	96.9	96.8	96.6
11	学校に行くのは楽しいと思いますか	92.3	87.8	86.1
12	自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか	82.6	81.7	79.2
13	友達関係に満足していますか	92.3	91.8	91.4
14	普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか	91.9	91.8	91.6
15	分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか	81.2	81.0	77.5
16	新聞を読んでいますか	5.3	4.6	5.7
17	地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか	75.8	75.8	75.3
18	学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか	89.0	88.0	84.7
19	授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができると感じますか	80.8	78.6	74.8
20	授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切に、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか	94.7	94.1	91.9



○「朝食を毎日食べている」「同じ時刻に寝たり起きたりする」に関する項目において、全国及び埼玉県の平均を上回っており、生活習慣の確立が図られている。
 ○「学校に相談できる大人がいる」「学校に行くのは楽しい」と思う割合が全国及び埼玉県の平均を大きく上回っており、充実した学校生活が送れていることがうかがえる。
 ○話し合い活動や周囲と協力した課題の解決に関する項目において全国及び埼玉県の平均を上回っており、協働的な学びを重視した指導が実践されていることがうかがえる。
 ○新聞への関心に課題が見られる。

5 各教科の正答率の状況及び成果と課題

小学校

(1)国語

全体の平均正答率は、全国及び埼玉県を上回っており、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力の育成が確実に図られている。一方で、学習指導要領の領域別でみると、「言葉の特徴や使い方に関する事項」における「配当漢字の正しい使い方」において、全国及び埼玉県の平均正答率を下回っており、文脈から適切な漢字を選択し、使い分けることに課題があると言える。また、「話すこと・聞くこと」における問題について平均正答率が全国、埼玉県平均より低い傾向にあり、目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討することや、自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉えることについて、課題があると言える。このことを受け、今後の授業では、「配当漢字を正しく使うこと」については、同音異義語や同訓異字に注意するなど、漢字がもつ意味について考えて使う習慣を身に付けさせることが重要である。また、「話すこと・聞くこと」においては、聞いたり話し合ったりすることを具体的に考え、関係する材料を整理することや、話し手の目的や自分が聞こうとする意図を考慮しながら聞くよう指導することが重要である。

(2)算数

全体の平均正答率は、全国及び埼玉県の平均値と同程度である。一方で、学習指導要領の領域別にみると、図形領域において、全国及び埼玉県の平均正答率を下回っている。その図形領域を問題の内容別に見ると、図形の意味理解を記述式で問う問題において正答率が低い傾向にある。該当の問題については、正答率は低いものの、無回答率は高くない。従って、記述はしているものの、図形の意味や性質については、表面的な理解に留まっており、図形概念の深い理解に至っていないことに課題があると言える。このことは、正答率の正規分布において、学力中位層が多く、高位層が少ないといった傾向とも合致する。このことを受け、今後の授業においては、問題解決的な学習を大切にし、解決の過程で働かせた数学的な見方・考え方を顕在化させるとともに、他の事象と関連付けながら統合的に理解するなどの深い学びを実現することが重要である。

(3)理科

全体の平均正答率は、全国及び埼玉県と同等か上回っている。学習指導要領の領域別にみると「粒子」及び「地球」では、全国及び埼玉県の平均正答率を上回っている。一方、学習指導要領の領域別「エネルギー」では、全国及び埼玉県の平均正答率を下回っている。評価の観点別にみると「思考・判断・表現」では、全国及び埼玉県の平均正答率を上回っており、短答式や記述式の問いに、正しく回答することができている。しかし、評価の観点別「知識・技能」は、全国及び埼玉県の平均値を下回っており、基礎基本の定着に課題が見られる。よって、日頃の授業から、観察・実験などの目的に応じて、実験器具や機器を選択して、正しく扱いながら調べ、過程や得られた結果を適切に記録させることや、授業の最後に「振り返り」の時間を確保し、学習内容の定着を図ることが重要である。

中学校

(1)国語

全体の平均正答率は、全国及び埼玉県と同等か上回っており、継続した指導改善の効果が表れている。学習指導要領の内容別にみると、特に、「話すこと・聞くこと」においては、全国及び埼玉県の平均正答率を上回っており、自分の考えが分かりやすく伝わるように工夫することや話の構成を工夫することについて、資質・能力の育成が図れている。一方で、「言葉の特徴や使い方に関する事項」における、事象や行為を表す語彙についての理解や、「書くこと」における、根拠を明確にして書くことについて課題が見られる。このことを受け、今後の授業においては、その語句が、話や文章の中でどのように使用されているか、自分が理解したり表現したりするときどのように用いればよいかを考えさせたり、自分の考えが確かな事実や事柄に基づいたものであることを確かめ、根拠を文章の中に記述する必要があることを理解させることが重要である。

(2)数学

全体の平均正答率は、埼玉県と同程度であり、全国については平均値を1ポイント以上、上回っている。一方で、学習指導要領の領域別及び評価の観点別、並びに問題形式別においては、概ね全国及び埼玉県の平均値と同程度か上回っているものの、「関数」の領域において課題が見られる。問題の内容別に見ると、関数領域において、事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができるかどうかをみる問題において、正答率が低く、無回答率が高い傾向にあり、課題となっている。さらに、平均正答率が、全国や埼玉県を上回っている他の問題においても、記述式の問題の無回答率が高い傾向にある。このことを受け、今後の授業においては、事象を数学的な表現を用いて論理的に説明したり、よりよい考えや事柄の本質について話し合い、よりよい考えに高めたり、事柄の本質を明らかにしたりするなどの「対話的な学び」を実現することが重要である。

(3)理科

全体の平均正答率は、全国及び埼玉県の平均値を下回っている。学習指導要領の領域別にみると「エネルギー」では、全国の平均正答率を上回っているが、「粒子」、「生命」で全国及び埼玉県の平均正答率を下回っている。特に、生物の体の仕組みに関する問題で、平均正答率が低いため、学習内容と自然観察や実験結果とを結びつけて理解する力に課題がある。評価の観点別では、「知識・技能」、「思考・判断・表現」において、全国の平均正答率を下回っている。よって、授業では、観察・実験を通して、生徒が仮説を立て、計画・実行し、実験で得られた結果を考察・発表するなどして探究的な学習の機会を増やすとともに、自分の考えを明確な根拠とともに説明できるように話し合いの場面を設定するなど、指導方法の工夫改善が重要である。

まとめ

国語では、小学校、中学校ともに、全国及び埼玉県の前年正答率は同等か上回っているが、知識及び技能における「言葉の特徴や使い方」について課題が見られる。算数・数学では、ともに全国、埼玉県の前年正答率と同等か上回っているが、算数における「図形」の領域や、「思考・判断・表現」の観点、数学における「関数」の領域に課題がある。理科では、小学校においては「エネルギー」の領域に、中学校では、「粒子」「生命」の領域に課題があるとともに、小学校、中学校に共通して「知識・技能」の観点に課題がある。質問調査では、児童生徒が充実した学校生活を送れていることや、日々の授業を実生活に生かしたり、友達や周りの人と協力しながら課題の解決に取り組んだりできている結果が得られた。また、困りごとや不安を先生や近くの人に相談することや、学校に行くことが楽しいという項目に対して、全国及び埼玉県の数値を大きく上回った。一方で、児童が、将来の夢や希望をもつことについて、全国や埼玉県の数値を下回るとともに、中学生の新聞への関心が低いといった課題が残る結果となった。

以上のことから、今後も、学習指導要領の趣旨を全教職員が理解し、児童生徒一人一人の資質・能力の育成に視点をあてた個別最適な学びや協働的な学びを軸とした、継続した授業改善を図るとともに、日々の授業や学校行事への取組を工夫するなどして、児童生徒がより夢や希望をもって生活ができるよう、具体的な取組を進めていくことが重要である。